

# あたらしい絵本 No. 442 2023. 3. 14



『ねこさんのつてくださーい』 さく・え/かしわら あきお  
・水色のバスさんが、ぶーん、ぷっぷーと走っています。すると、ぶどうさんや、ねこさんがいて…。ポジティブ思考の子どもが育つようにワクワクする工夫をしたベビー絵本。(幼0～2歳)



『かぼちゃスープのおふろ』 柴田 ケイコ  
・ある寒い日。くまさん、アルパカさん、ねこさんが森で見つけたのは、大きなかぼちゃスープのおふろ。「ご自由にお入りください。ただし中のスープは絶対に飲まないように」と説明が書いてあるのですが…。(幼0～5歳)



『ラッキーカレー』 シゲタ サヤカ  
・ペコペコさんの今日の晩ごはんはカレーライス。ラッキョウを忘れたペコペコさんが席を立ち、戻ってくると、なんとカレーが窓から逃げ出そうとしています。ペコペコさんが「ちょっと待って!」と叫ぶと…。(幼0～5歳)



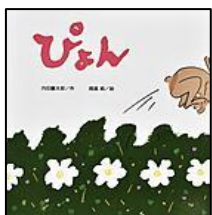
『みんなのいちねん』 たけうち ちひろ  
・1月、新しいおうちで新しいいちねんのはじまり。2月、節分。3月、おひなさま。4月、入学式…。みんなのいちねんはどんなかな。みんなのいちねん、見てみよう。探し絵も楽しめる絵本。(幼0～5歳)



『あかりのともるおうち』 アダム・トレスト/え  
・新しく建てられた家は「わたしにはどんな人が住むのだろう」と想像していた。夜になれば、あかりをともし、みんなを守りたいと願っていた。最初にやって来た家族は…。家族や年月の移り変わりを、「家」の視点で描いた絵本。(幼0～5歳)



『カレーはあとのおたのしみ』 シゲタ サヤカ  
・カレーの匂いに魅せられて、カミナリたちが雲の下におりてきた。カレーのお店で「カレーを3つ、おねがいしま～す!」と頼んだけど、出てきたのはハンバーグ。お店のおじさんは「カレーはあとのおたのしみ」と言って…。(幼0～5歳)



『ぴょん』 高島 純/絵  
・新しい季節がやってきました。うれしくなって、だれかがぴょん! カエル、リス、スニーカー…みんな元気に飛び出します。最後は大きな山が!? 言葉のリズムを楽しむ絵本。(幼0～5歳)

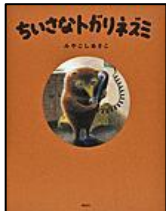
新しい絵本はほかにもあります。貸出中の時は、予約をしていただくと本が戻ってきた時、連絡します。電話での予約も受け付けていますので、お問い合わせください。



『かくれんぼハウスへようこそ』 **ぬまのう まき**  
 ・ねこくんが新しい家にひっこしてきました。すると、お手紙が届いて「ぼくたちのこと、みつけてね!」と書いてあります。この家の住人たちが、それぞれの部屋に隠れているようです。ねこくんはみつけられるでしょうか?  
 (幼3~5歳)



『ちいさいひなた』 **山田 美津子**  
 ・小さいひなた、つかまえた。あれ?つかまらない。ないない、ひなた。どこいった?光の差し込み具合で、時間の流れとともに現れては消える、小さな「ひなた」。ひなたの移ろいを子どもの目線で描くあたたかな絵本。  
 (幼3~5歳)



『ちいさなトガリネズミ』 **みやこし あきこ**  
 ・トガリネズミは働き者。朝おきてから夜ねるまで毎日だいたい同じです。そうそう、今日はひとついいことがありました。それは…。国内外で高い評価を受ける絵本作家の、はじめての絵本。 (幼3~5歳)



『どうぶつたちのやさしいきもちって?』 **デイヴィッド・ウォーカー/え**  
 ・動物たちも誰かにやさしくするのかな? ヤマアラシはキリンにマフラーを編んであげて、クマはなかよしのヘビにはちみつケーキをプレゼントして、リスはイヌの穴掘りを手伝って…。やさしい気持ちがうれしいね!  
 (幼0~5歳、小初)



『こねこのはなしではないおはなし』 **絵/カーソン・エリス**  
 ・これは子猫のお話ではなく、犬のお話でもなく、思いやり、寛容さ、そしてコミュニティについて語ろうとしたお話。ブルックリンにあるランドール家のそばで実際に起こった「車の下からの子猫の救出劇」に着想を得た絵本。  
 (幼3~5歳、小初)



『ヘンテコなきかいのしくみ』 **大串 ゆうじ**  
 ・家の中にあるまがいのしくみがどうなっているか、知ってる? 実はね、中にいる小さい人たちが動かしているんだよ…。世にも不思議でヘンテコなきかいのしくみをユーモアいっぱいで紹介する絵本。 (幼3~5歳、小初)



『じじつじじつ、ほんとうのことだよ』 **ピート・オズワルド/え**  
 ・ちいさなかなしい「じじつ」はだれにも信じてもらえません。でもじじつはじじつ。ほんとうのこと。ある日、えらそうな人たちがやってきて…。不都合な事実を隠し、ねじ曲げようとする圧力と、不変の事実との戦いを描いた絵本。 (幼3~5歳、小初)



『おもいででいっぱいになったら』 **はしもと みお**  
 ・ぼくは猫のトム。ある日、家の木でミノムシが揺れていた。ぼくはそれを見て、すぐに神さまだと思った。ぼくは神さまからたくさんのお話を教わって…。猫と神さまとのかけがえのない日々を描く。 (小)